

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公表番号】特表 2020-515759 (P2020-515759A)

【公表日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【年通号数】公開・登録公報 2020-021

【出願番号】特願 2019-553375 (P2019-553375)

【国際特許分類】

F 0 1 N 3/08 (2006.01)

F 0 1 N 3/10 (2006.01)

F 0 1 N 3/24 (2006.01)

F 0 1 N 3/021 (2006.01)

F 0 2 B 37/00 (2006.01)

B 0 1 J 29/072 (2006.01)

B 0 1 J 23/42 (2006.01)

B 0 1 J 35/04 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 N 3/08 B

F 0 1 N 3/10 A

F 0 1 N 3/24 T

F 0 1 N 3/24 C

F 0 1 N 3/24 E

F 0 1 N 3/021

F 0 2 B 37/00 3 0 2 Z

B 0 1 J 29/072 Z A B A

B 0 1 J 23/42 A

B 0 1 J 35/04 3 0 1 L

B 0 1 D 53/94 2 2 2

B 0 1 D 53/94 2 2 8

B 0 1 D 53/94 2 4 1

B 0 1 D 53/94 2 4 5

B 0 1 D 53/94 2 8 0

B 0 1 D 53/94 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 23 日 (2021.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入口端及び出口端を含む基材、第 1 のゾーン並びに第 2 のゾーンを含む触媒物品であって、

第 1 のゾーンが、

a . 担体上の白金族金属を含むアンモニアスリップ触媒 (A S C) 最下層 ; 及び

b . A S C 最下層より上に位置する、第 2 の S C R 触媒を含む S C R 層

を含み、

第2のゾーンが、ディーゼル酸化触媒（DOC）及びディーゼル発熱触媒（DEC）からなる群より選択される触媒（「第2のゾーン触媒」）を含み；

ASC最下層が第2のゾーンへ延び；且つ

第1のゾーンが第2のゾーンの upstream に位置する、
触媒物品。

【請求項2】

ASC最下層が（1）担体上の白金族金属と（2）第1のSCR触媒のブレンドを含む、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項3】

ASC最下層が、出口端から基材の全長未満にわたって延び；

SCR層が、入口端から基材の全長未満にわたって延び、少なくとも部分的にASC最下層に重なり；且つ

第2のゾーン触媒が、出口端から基材の全長未満にわたって延びる第2の層に含まれ、第2の層が、ASC最下層の最上部に位置し、ASC最下層よりも長さが短い、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項4】

ASC最下層が、入口端から基材の全長未満にわたって延び；

SCR層が、入口端から基材の全長未満にわたって延び、SCR層が、ASC最下層の最上部に位置し、ASC最下層よりも出口端へ向かってさらに延びず；且つ

第2のゾーン触媒が、出口端から基材の全長未満にわたって延びる第2の層に含まれ、第2の層が少なくとも部分的にASC最下層に重なる、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項5】

ASC最下層が、入口端から基材の全長未満にわたって延び；

SCR層が、入口端から基材の全長未満にわたって延び、SCR層が、ASC最下層の最上部に位置し、ASC最下層よりも出口端へ向かってさらに延び；且つ

第2のゾーン触媒が、出口端から基材の全長未満にわたって延びる層に含まれる、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項6】

ASC最下層が基材の全長を覆い；

SCR層が、入口端から基材の全長未満にわたって延び、SCR層がASC最下層の最上部に位置し；且つ

第2のゾーン触媒が、出口端から基材の全長未満にわたって延びる第2の層に含まれ、第2の層がASC最下層の最上部に位置する、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項7】

第2のゾーン触媒が基材内に位置している、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項8】

ケイ質材料が、（1）シリカ；（2）200より高いシリカ対アルミナ比を有するゼオライト；及び（3）40%のSiO₂含有量を有する非晶質のシリカドーパアルミナからなる群より選択される材料を含む、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項9】

白金族金属が、白金族金属及び担体の総重量の約0.1wt%から約10wt%の量で担体上に存在する、請求項1に記載の触媒物品。

【請求項10】

ブレンド内で、第1のSCR触媒の、担体上の白金族金属に対する重量比が約10：1から約50：1である、請求項2に記載の触媒物品。

【請求項11】

第1のゾーン及び第2のゾーンが単一基材上に位置しており、第1のゾーンが基材の入

口側に位置しており、第２のゾーンが基材の出口側に位置している、請求項１に記載の触媒物品。

【請求項１２】

基材が第１の基材及び第２の基材を含み、第１のゾーンが第１の基材上に位置しており、第２のゾーンが第２の基材上に位置しており、第１の基材が第２の基材の上流に位置している、請求項１に記載の触媒物品。

【請求項１３】

排気流を請求項１に記載の触媒物品と接触させることを含む、排気流からの排出を減少させる方法。

【請求項１４】

a．ターボチャージャ；

b．第３のＳＣＲ触媒；及び

c．請求項１に記載の触媒物品

を含む、排気流からの排出を減少させるための排気浄化システム。

【請求項１５】

第３のＳＣＲ触媒が、ターボチャージャの上流に位置している、請求項１４に記載のシステム。

【請求項１６】

第３のＳＣＲ触媒が、ターボチャージャの下流に位置している、請求項１４に記載のシステム。

【請求項１７】

第３のＳＣＲ触媒及び触媒物品が、単一基材上に位置しており、第３のＳＣＲ触媒が、第１のゾーン及び第２のゾーンの上流に位置している、請求項１４に記載のシステム。

【請求項１８】

第３のＳＣＲ触媒が、触媒物品基材の上流の基材上に位置している、請求項１４に記載のシステム。

【請求項１９】

第３のＳＣＲ触媒が触媒物品と近位連結している、請求項１４に記載のシステム。

【請求項２０】

ターボチャージャの上流に位置するプレターボＳＣＲ触媒をさらに含む、請求項１４に記載のシステム。